InSite 管理マニュアル オプション設定編

第七版　2024 年 10 月 4 日

© Discoveries, Inc.

目次

はじめに **1**

1. アプリカタログサイトの作成 **2**

1.1 テナントのアプリカタログサイトの作成 3

1.2 サイトコレクションのアプリカタログサイトの作成 4

2. アプリカタログサイトの登録 **7**

2.1 テナントのアプリカタログを使用する場合 7

2.2 サイトコレクションのアプリカタログを使用する場合 7

3. Microsoft Entra ID アプリの手動登録 **9**

3.1 テナント ID の取得（取得データ①） 9

3.2 アプリケーションの登録（取得データ②） 9

3.3 アプリケーションキーの登録（取得データ③④） 11

3.4 API アクセス許可 12

3.5 応答 URL の設定 15

3.6 アクセストークンの設定 17

4. オリジナルテンプレートの追加 **18**

4.1 操作概要と制約事項 18

4.2 事前確認事項 20

4.3 事前準備（実行ファイルのダウンロード） 21

4.4 オリジナルテンプレートの抽出 21

4.5 オリジナルテンプレートの登録と管理 25

5. IP アドレス制御の設定 **29**

5.1 IP アドレスの追加 29

5.2 IP アドレスの削除 30

5.3 Microsoft 365 アカウントでサインイン時の制御 31

6. 多要素認証設定 **32**

6.1 多要素認証ファイルの作成 32

6.2 多要素認証設定 34

6.3 多要素認証設定の解除 39

7. アプリケーションの削除 **40**

7.1 Teams チャットボットの無効化・削除 40

7.2 InSite サイトの削除 40

7.3 InSite アプリの削除 41

7.4 InSite Web パーツアプリの削除 41

補足

© Discoveries, Inc.

はじめに

Discoveries InSite は Microsoft 365 の中の社内情報共有サービスである SharePoint 用のアプリで、「ポータル」「ランディングページ」「文書管理」「ヘルプデスク」などのサイトのフレームワークを提供します。お客様の環境によっては追加設定が必要なものがございますので、オプション設定を実施いただくことになります。
本書は、InSite 管理サイトおよび InSite サイトをより活用いただくためのオプション設定について説明します。

尚、基本的な設定については、別紙「InSite 管理マニュアル 初期設定編」に沿って設定を実施してください。

© Discoveries, Inc.

1. アプリカタログサイトの作成

テナント全体もしくは特定のサイトで InSite のアプリケーションを利用する為に必要な、アプリカタログサイトの作成手順を説明します。
この操作は、基本的に Microsoft 365 の“SharePoint 管理者”の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

■ 2 種類のアプリカタログサイト

アプリカタログには、「テナントのアプロカタログ」と「サイトコレクションのアプリカタログ」という 2 種類の設定方法があります。

＜テナントのアプリカタログ＞
・ テナント全体で使用するアプリを登録するためのアプリカタログです。
・ テナントのアプリカタログに登録されたアプリは、**テナント内すべてのサイトコレクションに展開できます。**
・ SharePoint 管理センターから作成します。

＜サイトコレクションのアプリカタログ＞
・ サイトコレクションごとに使用する個別のアプリカタログです。
・ サイトコレクション管理者は、**自身が管理するサイトコレクションにのみアプリを展開することが可能です。**
・ チームサイトを作成し、PowerShell を使用して設定を行う必要があります。

一般的には「テナントのアプリカタログ」を使用して設定します。
※ グループ会社で 1 つのテナントを共用しており、その中の 1 社でのみ InSite をご利用になる場合には「サイトコレクションのアプリカタログ」を使用することで InSite アプリの使用範囲を限定することができます。

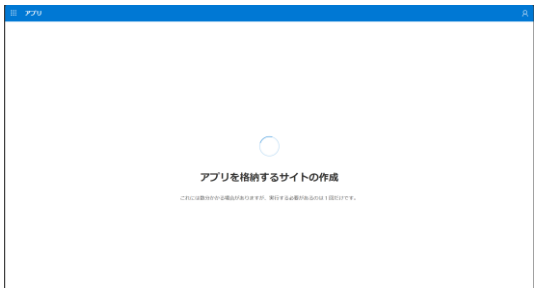
© Discoveries, Inc.

1.1 テナントのアプリカタログサイトの作成

テナント内にアプリカタログサイトを作成します。
この操作は、Microsoft 365 の“SharePoint 管理者”の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. SharePoint 管理センターで「その他の機能」を開き、アプリメニューの「開く」をクリックします。

2. テナントのアプリカタログサイトが作成されます。



3. アプリカタログサイトが表示されれば作成完了です。

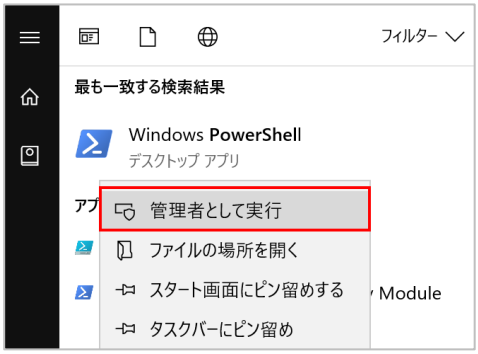
© Discoveries, Inc.

1.2 サイトコレクションのアプリカタログサイトの作成

サイトコレクション内にアプリカタログサイトを作成します。
この操作は PowerShell を使用して行うため、作業 PC の PowerShell を管理者で実行する権限が必要です。
また、操作手順の中で Microsoft 365 の"SharePoint 管理者"の管理者ロールを持つアカウントのアカウント情報（メールアドレス・パスワード）が必要です。

※ サイトコレクションのアプリカタログサイトの作成にあたっては、事前に SharePoint アプリを追加するための"専用のチームサイト"を作成しておく必要があります。また、操作手順の中で設定する"SharePoint 管理者"のアカウントがそのサイトの管理者として追加されている必要があります。

1. スタートメニューを開き、「Windows PowerShell」と入力し、右クリックから「管理者として実行」を選択します。



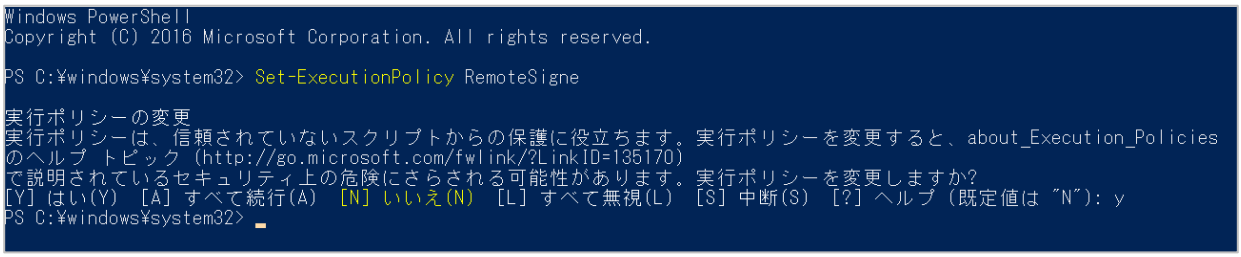
2. ユーザーアカウント制御が表示されるので、「はい」を選択します。

3. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

```
Set-ExecutionPolicy RemoteSigned
```

＜スクリプトファイルの実行ポリシーを変更します＞

4. 「y」を入力し、エンターキーを押下します。



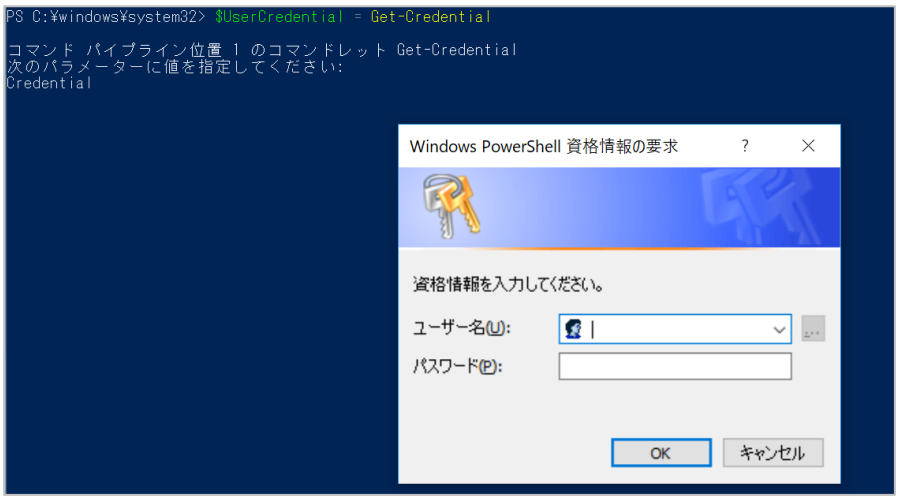
5. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

```
$UserCredential = Get-Credential
```


© Discoveries, Inc.

＜SharePoint を利用する為の資格情報を入力します＞

6. サインイン画面が表示されるので、"SharePoint 管理者"のアカウントを入力し、「OK」をクリックします。



7. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

Connect-SPOService -Url (SharePoint 管理センターの URL)

（例）Connect-SPOService -Url https://contoso-admin.sharepoint.com

8. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

Add-SPOSiteCollectionAppCatalog -Site (SharePoint アプリを追加するするチームサイトの URL)

（例）Add-SPOSiteCollectionAppCatalog -Site https://contoso.sharepoint.com/sites/AppCatalog

9. 8 で指定したチームサイトに「SharePoint 用アプリ」という名前のリストが作成されたことを確認します。

© Discoveries, Inc.

© Discoveries, Inc.

2. アプリカタログサイトの登録

InSite のアプリケーションを利用する為に、InSite 管理サイトへアプリカタログサイトの情報を登録する必要があります。
InSite 管理サイトへアプリカタログサイトの登録手順を説明します。

2.1 テナントのアプリカタログを使用する場合

テナントのアプリカタログサイトの登録手順は、「InSite 管理マニュアル 初期設定編」の「4.4 アプリカタログサイトの登録」をご参照ください。

2.2 サイトコレクションのアプリカタログを使用する場合

本作業は、InSite の【全体管理者】アカウントで実施します。
また、操作手順の中で「SharePoint サインインアカウント」のアカウント情報（メールアドレス・パスワード）が必要です。

※「SharePoint サインインアカウント」はサイトコレクションのアプリカタログサイト（チームサイト）の管理者として追加されている必要があります。
※「SharePoint サインインアカウント」は Microsoft 365 の"SharePoint 管理者"の管理者ロールが付与されている必要があります。

1. InSite 管理サイト <https://insite360.biz/> にアクセスして、【全体管理者】でサインインします。

2. 歯車アイコンの「設定」メニューから、「SharePoint 管理 URL 設定」を開き、必要な情報を入力します。

© Discoveries, Inc.

項目	内容
SharePoint Online 管理センターURL	貴社の SharePoint Online 管理センターの URL を入力します。 ※ 末尾に「/」を入力すると失敗しますので、お気を付けください。 （例）https://〇〇〇-admin.sharepoint.com
SharePoint サインインアカウント	サイトコレクションのアプリカタログサイトに管理者として追加されている「SharePoint サインインアカウント」を入力します。 ※ Microsoft 365 の“SharePoint 管理者”の管理者ロールが付与されている必要があります。
パスワード	上記アカウントで Microsoft 365 にサインインする際のパスワードを入力します。 ※ 設定後にアカウントのパスワード変更した場合、忘れずに本設定の情報も更新してください。（更新されない場合、InSite 側ではパスワード不一致のエラーが発生します。）

3. 「設定」をクリックします。

© Discoveries, Inc.

3. Microsoft Entra ID アプリの手動登録

「InSite 管理マニュアル 初期設定編」の「4.1 Microsoft Entra ID アプリ登録」において、Azure 自動登録が実施できなかった場合に、手動でアプリを登録する方法を説明します。
本作業は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"と InSite の【全体管理者】で実施します。
Microsoft 365 の"グローバル管理者"が環境情報（取得データ①～③）取得し、InSite の【全体管理者】に連携します。

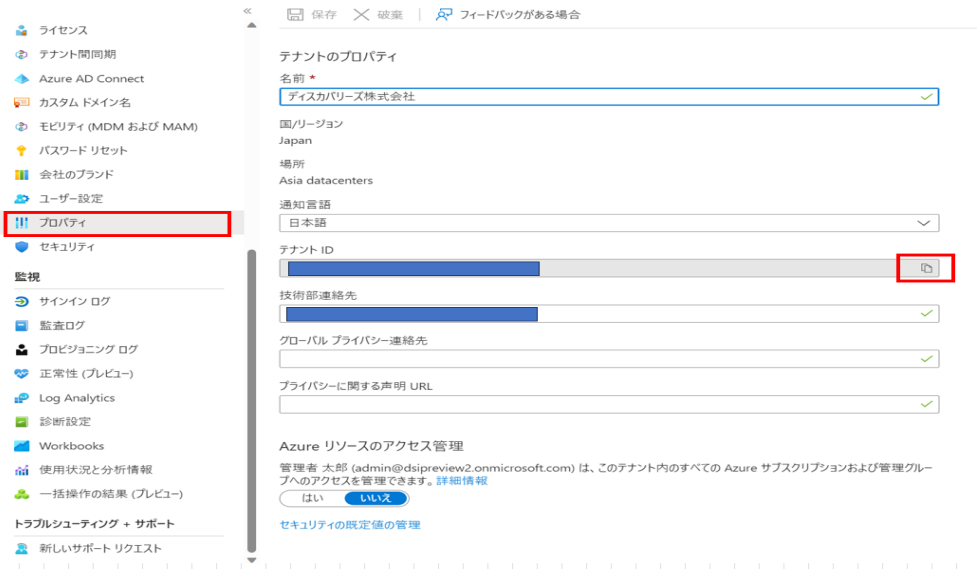
3.1 テナント ID の取得（取得データ①）

貴社テナントの Microsoft Entra ID のテナント ID を取得します。
この操作は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. Azure ポータル <https://portal.azure.com> を開き、"グローバル管理者"アカウントでサインインします。

2. 「Microsoft Entra ID」メニューを開き、「プロパティ」を開きます。

3. 「テナント ID」右のアイコンをクリックし、コピーされた ID をテキストファイルに保管します。（※**取得データ①**）



3.2 アプリケーションの登録（取得データ②）

Microsoft Entra ID に InSite 用アプリを登録し、アプリケーション ID を取得します。
この操作は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. Azure ポータルサイトの「Microsoft Entra ID」メニューを開き、「アプリの登録」を開きます。

© Discoveries, Inc.

2. 「+新規登録」をクリックします。

3. 必要な情報を入力します。

項目	内容
名前	任意の名前を入力します。 （例）InSite
サポートされているアカウントの種類	「この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント（〇〇〇のみ - シングルテナント）」を選択します。
リダイレクト URI	Web　https://insite360.biz　を入力します。

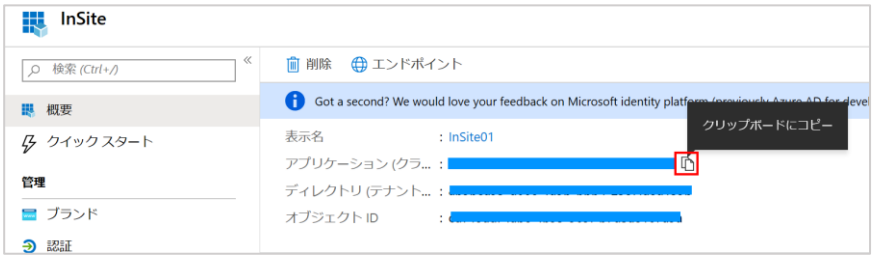
4. 「登録」をクリックします。

© Discoveries, Inc.

5. 右上の通知メッセージより、アプリケーションが正常に作成されたことを確認します。

6. 作成したアプリケーションの概要が開くので、「アプリケーション(クライアント)ID」右のアイコンをクリックし、コピーされた値をテキストファイルに保管します。（※**取得データ②**）

※ アプリケーション ID は、URL 形式ではありません。お間違えのないようにご確認ください。



3.3 アプリケーションキーの登録（取得データ③④）

アプリケーションにアクセスキーを作成し、その値を取得します。

この操作は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

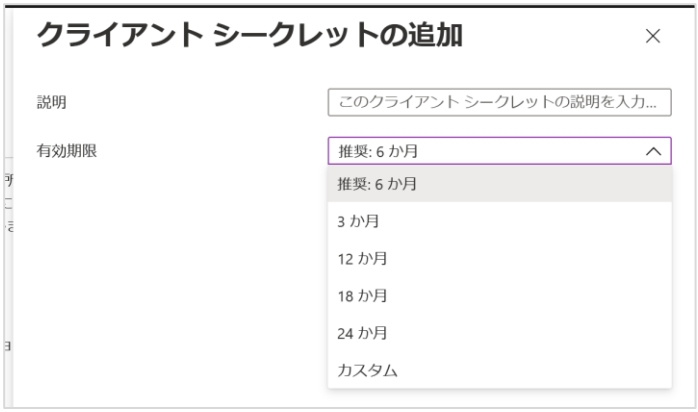
1. 作成したアプリケーション（例：InSite）の画面から「証明書とシークレット」を開きます。

2. 「新しいクライアント シークレット」をクリックします。

3. 必要な情報を入力します。

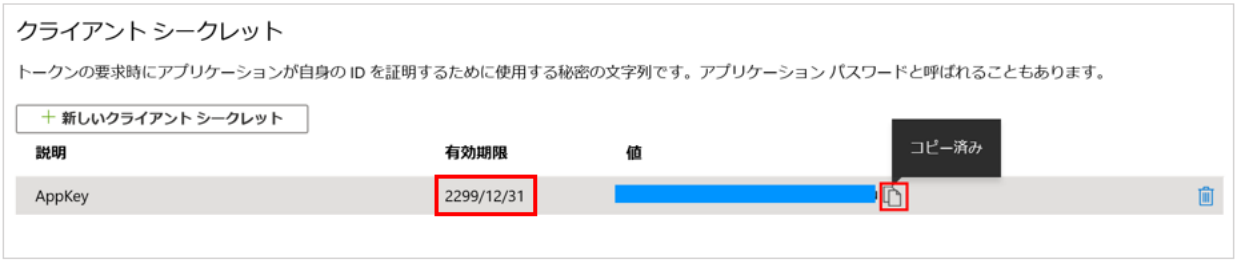
項目	内容
説明	任意の説明を入力します。 （例） AppKey
有効期限	「24 か月」を選択します。 ※ Microsoft Entra ID の仕様により、最長で 24 か月までしか設定することができません。

© Discoveries, Inc.



4. 「追加」をクリックします。

5. 追加したキーの「値」が一度のみ表示されます。右のアイコンをクリックし、コピーされた値をテキストファイルに保管します。（※**取得データ③**）
   ※ 画面遷移した後では、キーの値は「非表示」となり確認できません。
   また、有効期限の日付をコピーし、こちらの値もテキストファイルに保管します。（※**取得データ④**）



本章でここまでに取得した情報（取得データ①～④）を、InSite の【全体管理者】に共有いただき、引き続き初期設定を実施します。

3.4 API アクセス許可

作成したアプリケーションに対し、アクセス許可設定を実施します。
アクセス許可の付与が適切でない場合、InSite 管理サイトの設定に失敗します。
この操作は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. 作成したアプリケーション（例：InSite）を開き、「API のアクセス許可」を開きます。

2. 「+アクセス許可の追加」をクリックします。

© Discoveries, Inc.

3. よく使用される Microsoft API にある「Microsoft Graph」をクリックします。

4. 「委任されたアクセス許可」をクリックします。

5. 検索窓から「Calendars.ReadWrite.Shared」を探し、チェックをオンにします。

6. 同様の手順で以下を探し、**5 項目**すべてのチェックをオンにします。

- 委任されたアクセス許可

  (1) Calendars - Calendars.ReadWrite.Shared

  (2) Directory - Directory.ReadWrite.All

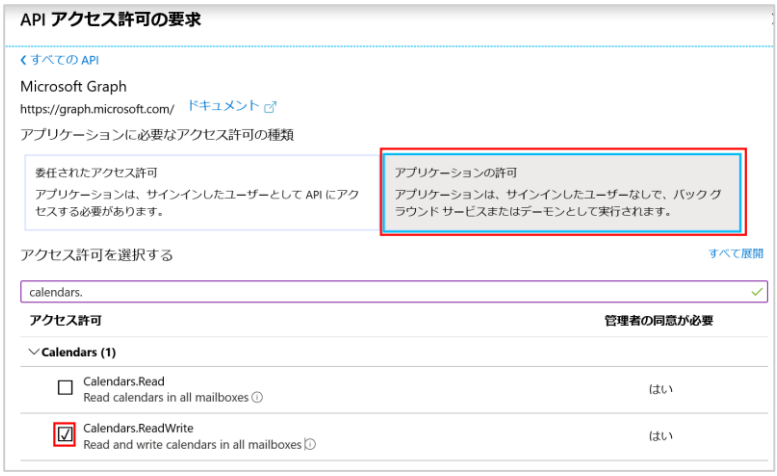
  (3) Group - Group.ReadWrite.All

  (4) Mail - Mail.Send

  (5) User - User.ReadWrite.All

© Discoveries, Inc.

7. 次に、「アプリケーションの許可」をクリックします。



8. 同様の手順で以下を探し、**5 項目**すべてのチェックをオンにします。

- アプリケーションの許可

  (1) Calendars - Calendars.Read.Write

  (2) Directory - Directory.ReadWrite.All

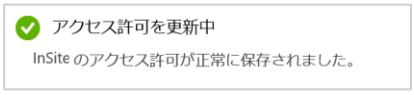
  (3) Group - Group.ReadWrite.All

  (4) User - User.ReadWrite.All

  (5) Place - Place.Read.All

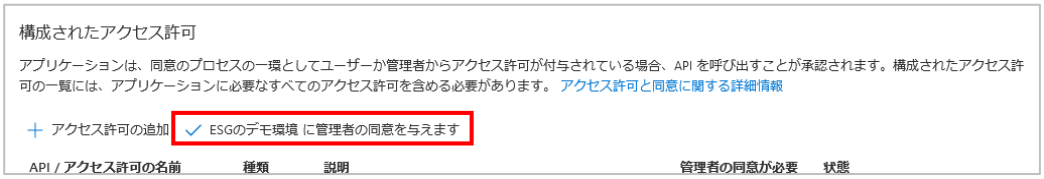
9. 画面下部にある「アクセス許可の追加」をクリックします。

10. 通知メッセージより、アクセス許可が正常に追加されたことを確認します。

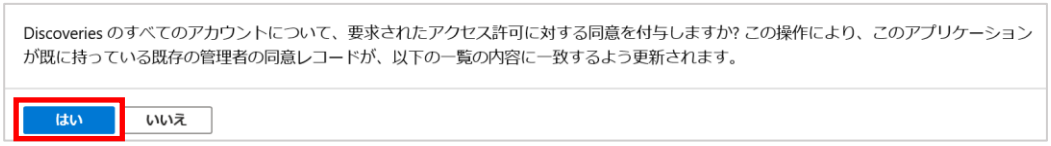


11. 再度「+アクセス許可の追加」をクリックします。

12. アクセス許可一覧画面下部の「同意する」にある「【お客様環境名】に管理者の同意を与えます」をクリックします。



13. 「はい」をクリックします。



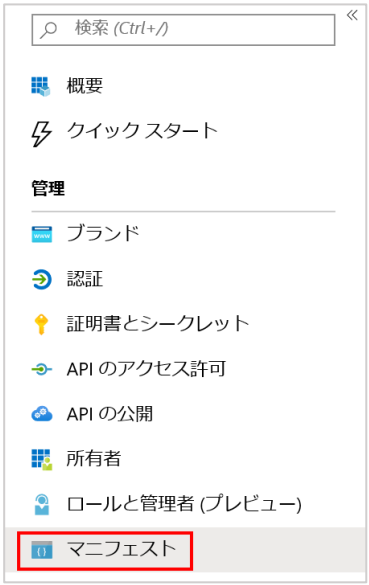
© Discoveries, Inc.

14. 通知メッセージより、アクセス許可が正常に付与されたことを確認します。

3.5 応答 URL の設定

ポータルの「伝言メモ」「設備予約」機能をご利用いただく場合に、必要な設定です。
尚、当該機能を利用しない場合には設定不要です。
この操作は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. 作成したアプリケーション（例：InSite）を開き、「マニフェスト」を開きます。



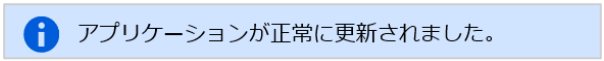
2. 37 行目以降にある"replyUrlsWithType"を探します。

3. 画像を参考に、以下のように貴社テナント SharePoint 環境の URL を入力します。
※ 波括弧の間のカンマ「,」と、URL 末尾に「/*」を入力してください。

```
{
    "url": "https://insite360.biz",
    "type": "Web"
},
{
    "url": "https://〇〇〇.sharepoint.com/*",
    "type": "Web"
}
```


© Discoveries, Inc.

4. 画面上部の「保存」をクリックし、成功メッセージが表示されることを確認します。



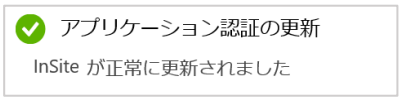
5. アプリケーション画面から「認証」を開きます。

6. 追加した URL が表示されていることを確認します。

7. 認証画面「詳細設定」内の「暗黙の付与」から「アクセストークン」と「ID トークン」のチェックをオンにします。

8. 「保存」をクリックします。

9. 通知メッセージより、正常に更新されたことを確認します。



© Discoveries, Inc.

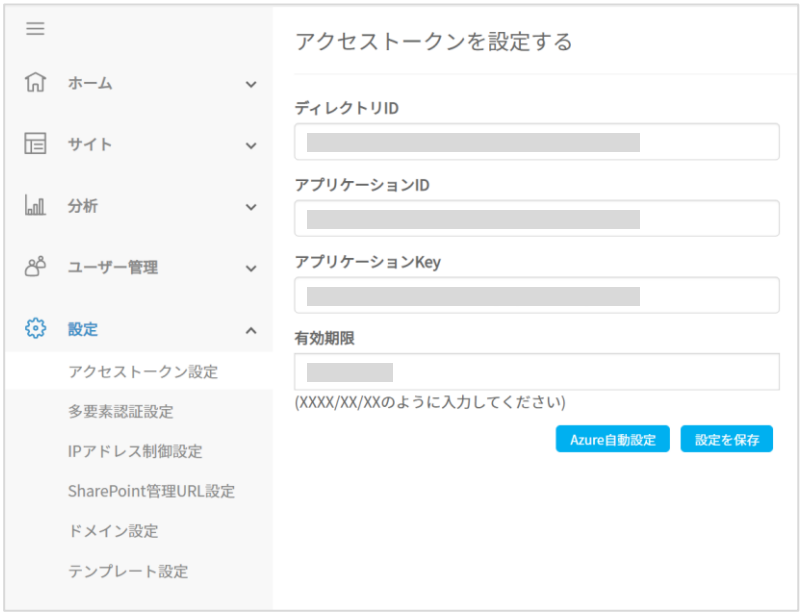
3.6 アクセストークンの設定

InSite 管理サイトに、取得した Azure 環境情報を登録し、InSite 用アプリを登録・連携します。
この操作は、InSite の【全体管理者】アカウントで実施します。

1. InSite 管理サイト <https://insite360.biz/> にアクセスして、【全体管理者】でサインインします。

2. 歯車アイコンの「設定」メニューから、「アクセストークン設定」を開きます。

3. 保管したデータを入力し、「設定を保存」をクリックします。
   ディレクトリ ID：「3.1 テナント ID を取得」で保管した**取得データ①**
   アプリケーション ID：「3.2 アプリケーションの登録」で保管した**取得データ②**
   アプリケーション Key：「3.3 アプリケーションキーの登録」で保管した**取得データ③**
   有効期限：「3.3 アプリケーションキーの登録」で保管した**取得データ④**
   ※有効期限を設定すると期限 30 日前と 10 日前に通知メールが送信されます



4. 成功メッセージが表示されることを確認します。

© Discoveries, Inc.

4. オリジナルテンプレートの追加

テナント内に作成されたテンプレート元サイトの抽出と、InSite 管理サイトへの追加方法を説明します。
InSite サイト（InSite のフレームワークを使用して作成されたサイト）を作成後、お客様側で変更したレイアウトの変更をオリジナルテンプレートとして登録し、InSite 管理サイトから展開することができます。
この操作は PowerShell を使用して行うため、作業 PC の PowerShell を管理者で実行する権限が必要です。

尚、以下につきましてはサポート対象外となりますので、予めご了承ください。
・ InSite 管理サイトより作成した「ポータル」「ランディングページ」「文書管理」以外の SharePoint サイトの抽出と展開
・ 日本語以外の言語がインストールされた PC 端末による実行
・ オリジナルテンプレートを使用して作成したサイトの、InSite 管理サイトからの操作（編集）

4.1 操作概要と制約事項

本作業は、PowerShell を使用して行うため、作業 PC の PowerShell を管理者で実行する権限が必要です。

【操作概要】
操作の概要を説明します。
1. PowerShell を使用してプログラムファイル（SiteRetrieve.ps1）を実行し、テンプレート元サイトのデータを実行ユーザーの作業 PC 内（ローカルフォルダ）に抽出します。
2. InSite の【全体管理者】がオリジナルテンプレートのデータファイルを InSite 管理サイトに保存・設定します。

【既存サイトのエクスポートデータ】
エクスポートするデータは、以下のとおりです。
- 指定した InSite サイトの Top ページ（Web パーツのレイアウト、サイトロゴ）
- 指定した InSite サイトのリストおよびドキュメントライブラリのテンプレート
- 指定した InSite サイトのリストおよびドキュメントライブラリのフォルダまたはアイテム
- 指定した InSite サイトのアプリカタログのテンプレート（サイトコレクションのアプリカタログを利用する場合）
- 指定した InSite サイトのアプリカタログ内の sppkg ファイル（サイトコレクションのアプリカタログを利用する場合）

【制限事項：サイト単位】
以下に該当するものはコピーすることができません。展開後、手動で新規作成、アップロード、変更を行ってください。
- アプリ
- サブサイト
- サブサイト配下のサブサイト
- サイトに設定された権限
- サイトコレクションの機能
- テーマカラー

© Discoveries, Inc.

・ 画像ライブラリ
・ スタイルライブラリ
・ ワークフロー

※ 上記に該当する場合は、警告が表示されスキップされる場合があります。

【制限事項：リストおよびドキュメントライブラリ単位】
以下に該当するものはコピーすることができません。展開後、手動で新規作成、アップロード、変更を行ってください。

① データ

・ 表示名が同じ名称（表示名）のリストおよびドキュメントライブラリ
・ 名称に【 ¥ : / * ? " < > | 】の記号が入ったサイト、リスト、ドキュメントライブラリ
・ 参照列の値
・ アイテム／ドキュメントに設定された用語セットの値

② 制限

・ リストの Title 列名を変更している場合、列名が Title になります。
・ AllItem ビューの名前を変更していると 2 つ作成されます。（変更されたビューが既定のビューに設定されます。）
・ 1 リスト内のアイテムが 5000 件オーバーしている場合、抽出・展開できません。
・ 1 ドキュメントライブラリ内のフォルダ、ファイルが 5000 件オーバーしている場合、抽出・展開できません。

【制限事項：アイテム単位】

・ 承認の状況を設定しているリストおよびドキュメントライブラリのアイテムは全て承認前の状態に戻ります。
・ リストおよびドキュメントライブラリの列の種類がユーザーまたはグループの列の値にゲストユーザーが指定されているアイテムはコピーできません。
・ イベント 場所列の値に位置情報が正しく入力されていない場合、コピーできません。

【制限事項：サイトページ】

・ カスタムスクリプトの設定が「拒否」に設定されている場合、サイトのページをコピーできません。

© Discoveries, Inc.

4.2 事前確認事項

オリジナルテンプレートの追加作業の実施にあたり、事前に以下の項目をご確認ください。

【PowerShell バージョン】
PSVersion 5.1 以上
※ 現在の PowerShell のバージョンを確認する場合は、スタートメニューから、Windows PowerShell を開き、「$PSVersionTable」を入力し、実行します。

【インストールコンポーネント】
SharePointInSitePowerShellOnline
インストールはオリジナルテンプレートの抽出作業の中に含まれているため、事前確認段階でのインストールは不要です。
※ インストール手順の詳細は、本マニュアルの「4.4 オリジナルテンプレートの抽出」の「② インストールモジュールの準備」に記載されています。

【アカウント要件】
抽出する SharePoint サイトの所有者（フルコントロール）権限
※ 抽出作業内で使用する「SharePoint サインインアカウント」に対して、上記の権限が付与されている必要があります。

【アプリカタログ】
アプリカタログサイトの作成と InSite 管理サイトへの登録の完了
※ アプリカタログサイトの作成手順につきましては、本マニュアルの「1. アプリカタログサイトの作成」をご参照ください。
※ アプリカタログサイトの InSite 管理サイトへの登録手順につきましては、本マニュアルの「2. アプリカタログサイトの登録」をご参照ください。

© Discoveries, Inc.

4.3 事前準備（実行ファイルのダウンロード）

InSite 管理サイトよりサイトの抽出作業に必要なファイルをダウンロードします。
以下から 2 点の Zip ファイルをダウンロードし、作業 PC の任意の半角スペースを含まない場所に解凍します。
(a) https://www.insite360.biz/SiteExtensions/DownloadFile?fileName=ModuleInstall.zip
(b) https://www.insite360.biz/SiteExtensions/DownloadFile?fileName=SiteRetrieve.zip

上記の Zip ファイルには、以下のフォルダとファイルが含まれています
(a) ModuleInstall.ps1.txt、SharePointInSitePowerShellOnline.zip
(b) Retrieve_SiteCollection、Retrieve_Tenant

Retrieve_SiteCollection、Retrieve_Tenant にはそれぞれ、SiteRetrive.ps1.txt ファイルが含まれており、実行時にはファイル名末尾の「.txt」を削除し、 ps1 ファイルとして使用します。
テナントのアプリカタログを使用している場合は、「Retrieve _Tenant」内の ps1 ファイルを使用します。
サイトコレクションのアプリカタログを使用している場合は、「Retrieve _SiteCollection」内の ps1 ファイルを使用します。
※ 実行時は、お客様の環境と異なるアプリカタログ用の ps1 ファイルを使用しないようご注意ください。

4.4 オリジナルテンプレートの抽出

この操作は PowerShell を使用して行うため、作業 PC の PowerShell を管理者で実行する権限が必要です。
また、操作手順の中で “抽出する SharePoint サイトの所有者（フルコントロール）権限を持つ「SharePoint サインインアカウント」”のアカウント情報（メールアドレス・パスワード）が必要です。

抽出するサイトの URL を事前にご用意ください。

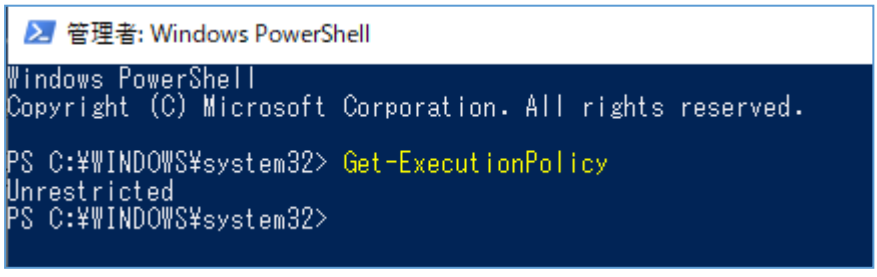
① Windows PowerShell スクリプトの実行ポリシー変更

1. スタートメニューを開き、「Windows PowerShell」と入力します

2. 表示されたアプリ名を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

3. 以下を入力し、エンターキーを押下します

```
Get-ExecutionPolicy
```



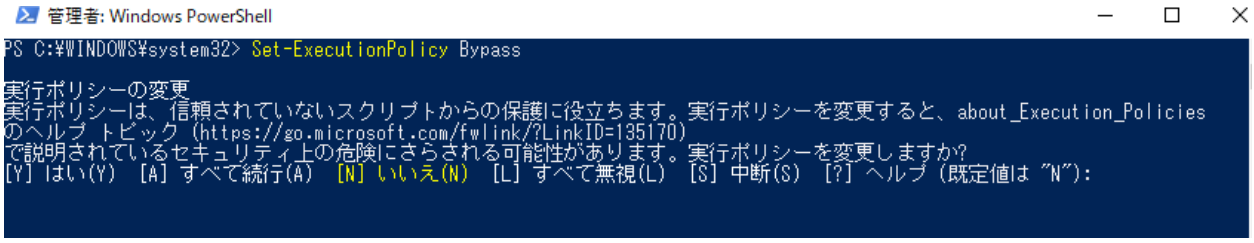
© Discoveries, Inc.

4. 現在設定されているスクリプト実行ポリシーをメモします。（例: Unrestricted をメモ）

5. 以下を入力し、エンターキーを押下します。

```
Set-ExecutionPolicy Bypass
```

6. 「y」を入力し、エンターキーを押下します。



7. サイトコピーがすべて完了しましたら、セキュリティポリシーを上記の 4.の手順でメモした値に変更し直してください。

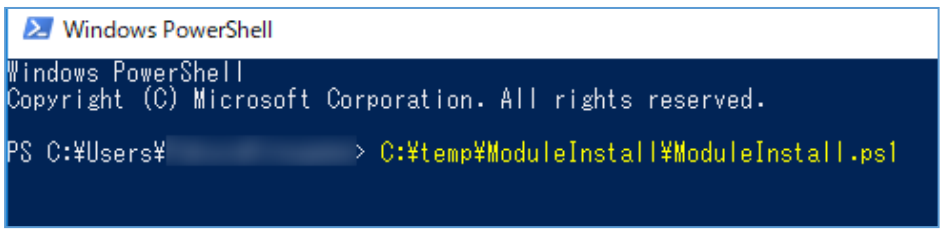
```
Set-ExecutionPolicy <メモした値>
```

② インストールモジュールの準備

1. 事前準備で用意した「ModuleInstall.zip」ファイルを解凍します。

2. 解凍したファイル「ModuleInstall.ps1.txt」から、ファイル名末尾の「.txt」を削除します。
3. スタートメニューから、Windows PowerShell を開きます。

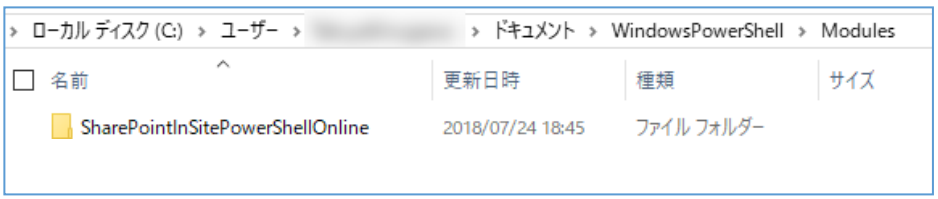
4. 「ModuleInstall.ps1」のパスを指定し、実行します。



© Discoveries, Inc.

5.「ModuleInstall.ps1」実行後、「SharePointInSitePowerShellOnline」が以下のフォルダ配下にインストールされたことを確認します。

C:¥Users¥<ユーザー名>¥Documents¥WindowsPowerShell¥Modules



※ アンインストールする場合は、PowerShell が起動していないことを確認し、手動で「SharePointInSitePowerShellOnline」フォルダの削除を行ってください。

③ サイトデータの抽出

1. 事前準備で用意した「SiteRetrieve.zip」ファイルを解凍します。

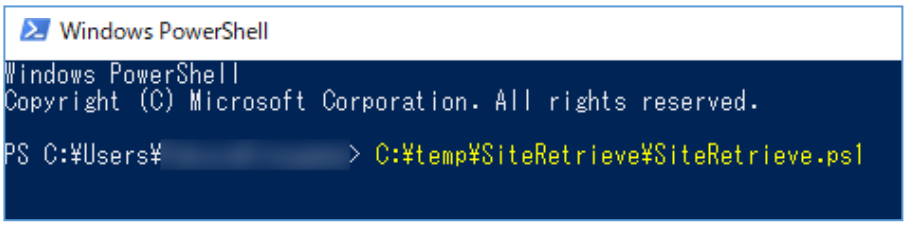
2. 解凍したファイル 「SiteRetrieve.ps1.txt」から、ファイル名末尾の「.txt」を削除します。

※ テナントのアプリカタログを使用している場合、「Retrieve _Tenant」フォルダ内の「SiteRetrieve.ps1.txt」を使用します。

※ サイトコレクションのアプリカタログを使用している場合、「Retrieve _SiteCollection」フォルダ内の「SiteRetrieve.ps1.txt」を使用します。

3. スタートメニューから、Windows PowerShell を開きます。

4.「SiteRetrieve.ps1」のパスを指定し、実行します



5. 表示されるメッセージに沿って、情報を入力します。

項目	内容
データを抽出する SharePoint サイトの URL	抽出するテンプレート元サイトの URL を入力します。 （例）https://test.sharepoint.com/sites/testRetrieve
SharePoint サインインアカウント	上記のサイトに所有者（フルコントロール）権限を持つ「SharePoint サインインアカウント」を入力します。
Password	上記アカウントで Microsoft 365 にサインインする際のパスワードを入力します。

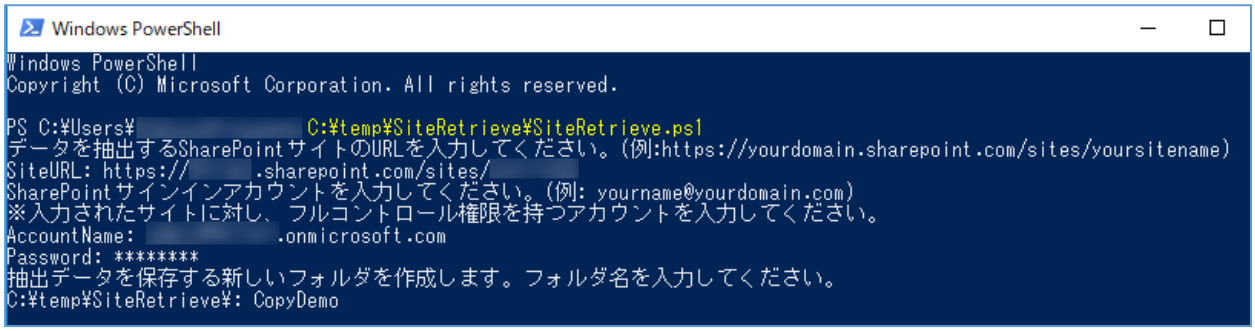
© Discoveries, Inc.

6. 抽出データを保存する新規フォルダの名称を入力します。

（例） CopyDemo

※ 新規フォルダの名称には【 ¥ : / * ? " < > | 】の記号を使用できません。

7.「SiteRetrieve.ps1」実行完了後、「SiteRetrieve.ps1」が保存されているフォルダ内に、指定した名称の zip ファイルが作成されたことを確認します。



本章のここまでの操作で作成したファイルを、InSite の【全体管理者】に共有いただき、引き続きオリジナルテンプレートの追加作業を実施します。

© Discoveries, Inc.

4.5 オリジナルテンプレートの登録と管理

この操作は、InSite の【全体管理者】アカウントで実施します。
また、操作手順の中でテンプレート元サイトの抽出ファイルと、展開画面に表示するサイトのサムネイル画像が必要です。

【オリジナルテンプレートの登録】

1. InSite 管理サイト <https://insite360.biz/> にアクセスして、【全体管理者】でサインインします。

2. 歯車アイコンの「設定」メニューから「テンプレート設定」を開き、「新規作成」をクリックします。

3. 必要な情報を入力します。

© Discoveries, Inc.

項目	内容
表示	チェックをオンにすると、サイト作成時にテンプレートを利用できます。チェックをオフにすると、テンプレート一覧に表示されません。
サムネイル画像の選択	テンプレート一覧に表示するサムネイル画像を設定します。 「参照」から任意の画像ファイルを指定します。
テンプレート名	テンプレート一覧に表示する名前を入力します。 （例）申請サイト
抽出ファイルの選択	テンプレート一覧に登録するサイトデータを設定します。 「参照」からテンプレート元サイトの抽出データ（zip）ファイルを指定します。 ※ 使用する zip ファイルは解凍しないでください。

4. 「OK」をクリックし、データを登録します。
   ※ 登録には時間がかかる場合があります。

登録が完了すると、InSite 管理サイトからの新規サイト作成時に、オリジナルテンプレートとして追加したサイトが使用可能になります。

【オリジナルテンプレートの編集】

1. 歯車アイコンの「設定」メニューから「テンプレート設定」を開きます。

2. 編集したいテンプレートの「編集」（鉛筆アイコン）をクリックします。

© Discoveries, Inc.

3. 必要な情報を入力し、「OK」をクリックします。

項目	内容
表示	チェックをオンにすると、サイト作成時にテンプレートを利用できます。チェックをオフにすると、テンプレート一覧に表示されません。
サムネイル画像の選択	テンプレート一覧に表示するサムネイル画像を設定します。 「参照」から任意の画像ファイルを指定します。
テンプレート名	テンプレート一覧に表示する名前を入力します。 （例）申請サイト
抽出ファイルの選択	テンプレート一覧に登録するサイトデータを設定します。 「参照」からサイトのコピーデータ（zip）ファイルを指定します。 ※ 使用する zip ファイルは解凍しないでください。

【オリジナルテンプレートの削除】

1. 歯車アイコンの「設定」メニューから「テンプレート設定」を開きます。

© Discoveries, Inc.

2. 削除したいテンプレートの「削除」（ごみ箱アイコン）をクリックします。

3. 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

© Discoveries, Inc.

5. IP アドレス制御の設定

不正ログインなどを防止する為に、InSite 管理サイトへのアクセスを IP アドレスにより制御する方法を説明します。
本作業は、InSite の【全体管理者】アカウントで実施します。
※ 設定された IP アドレスの制御は【InSite 管理者】に対してのみ有効です。（【全体管理者】には IP アドレス制御は無効です。）

IP アドレス制限設定の利用ケースは、以下 4 パターンを想定しています。

- IP アドレスを設定しない場合、すべての IP アドレスから接続可能とする
- 接続許可の IP アドレスだけが設定された場合、設定された IP アドレス以外は、全て接続不可とする
- 接続不可の IP アドレスだけが設定された場合、設定された IP アドレス以外は、全て接続可能とする
- 接続許可と接続不可の IP アドレスが両方設定された場合、接続不可と設定された IP アドレス以外は、全て接続許可とする

5.1 IP アドレスの追加

接続を許可または除外する IP アドレスを追加します。

1. InSite 管理サイト <https://insite360.biz/> にアクセスして、【全体管理者】でサインインします。

2. 歯車アイコンの「設定」メニューから、「IP アドレス制御設定」を開きます。

3. 「開始 IP」と「終了 IP」にアドレスを入力し、「接続可能」または「接続不可」を選択します。

4. 「＋クライアントの追加」をクリックすると一覧に追加されます。

© Discoveries, Inc.

5. 一覧の内容を「保存」をクリックし、表示されたウィンドウで「OK」をクリックして設定を保存します。

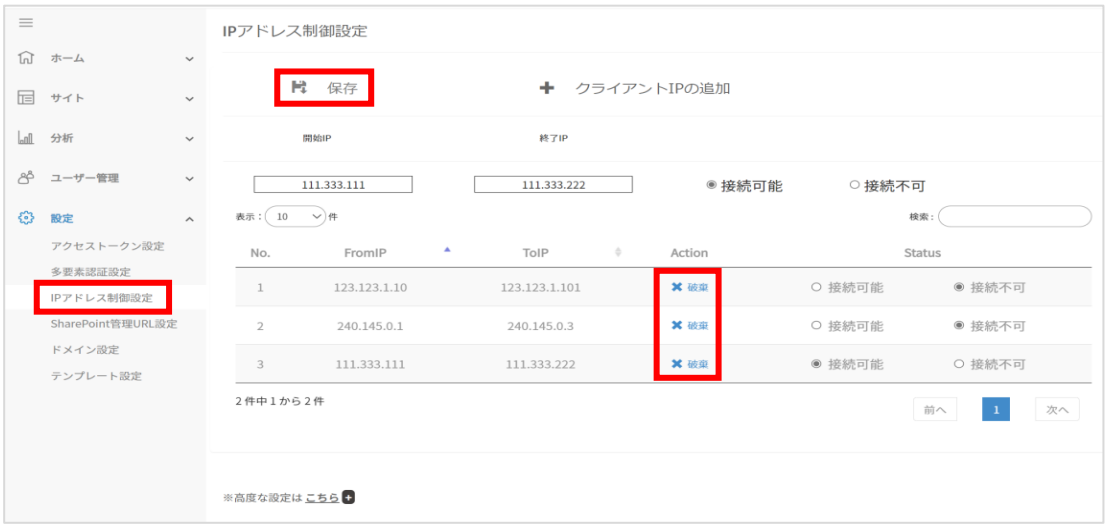
5.2 IP アドレスの削除

接続を許可または除外する IP アドレスを削除します。

1. InSite 管理サイト <https://insite360.biz/> にアクセスして、【全体管理者】でサインインします。

2. 歯車アイコンの「設定」メニューから、「IP アドレス制御設定」を開きます。

3. 一覧に表示されている削除したい IP アドレスの「×削除」をクリックし、表示されたウィンドウで「OK」をクリックします。



4. 一覧の内容を「保存」をクリックし、表示されたウィンドウで「OK」をクリックして設定を保存します。

© Discoveries, Inc.

5.3 Microsoft 365 アカウントでサインイン時の制御

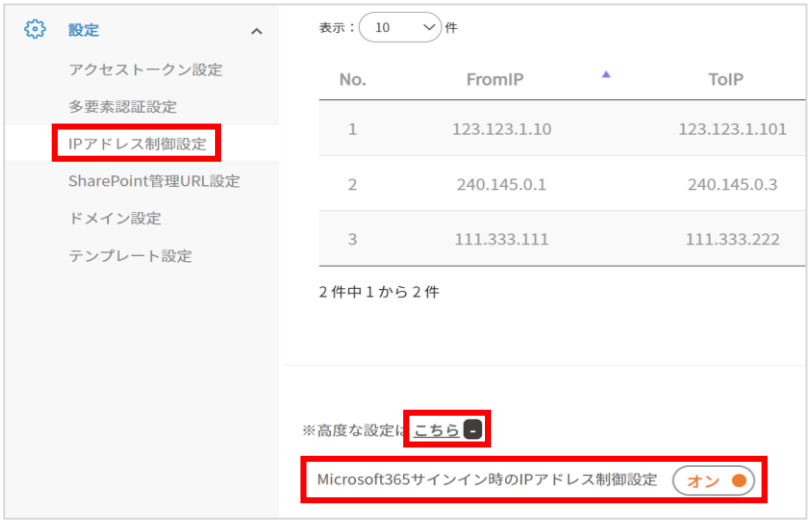
InSite の【InSite 管理者】が Microsoft 365 アカウントを利用して InSite 管理サイトにサインインする場合にも、設定した IP アドレス制御を有効にするか設定します。

1. InSite 管理サイト <https://insite360.biz/> にアクセスして、【全体管理者】でサインインします。

2. 歯車アイコンの「設定」メニューから、「IP アドレス制御設定」を開きます。

3. 一覧の下にある「※高度な設定はこちら」の「こちら」をクリックします。

4. 「Office365 サインイン時の IP アドレス制御設定」のメニューが展開されますので、Microsoft 365 アカウントでサインインした場合でも IP アドレス制御を有効にする場合は「オン」にします。



© Discoveries, Inc.

6. 多要素認証設定

Microsoft 365 の多要素認証（MFA）を利用したアカウントを「SharePoint サインインアカウント」として InSite 管理サイトで利用できるようにするための設定方法を説明します。
本設定を行うことで Microsoft 365 のセキュリティ対策を有効にできるため、より安心して InSite を利用できるようになります。
※ 本設定は Microsoft 365 の多要素認証（MFA）を対象としたものであり、その他の要素（3rd Party 製品の認証サービス等）に対応するものではありません。

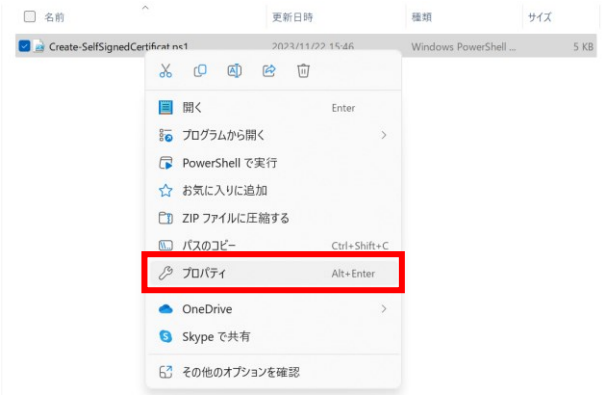
6.1 多要素認証ファイルの作成

InSite からお客様の環境へ接続する為に必要な、認証ファイルを作成します。
この操作は PowerShell を使用して行うため、作業 PC の PowerShell を管理者で実行する権限が必要です。
また、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. 以下のサイトから「Create-SelfSignedCertificat.ps1」をダウンロードします。

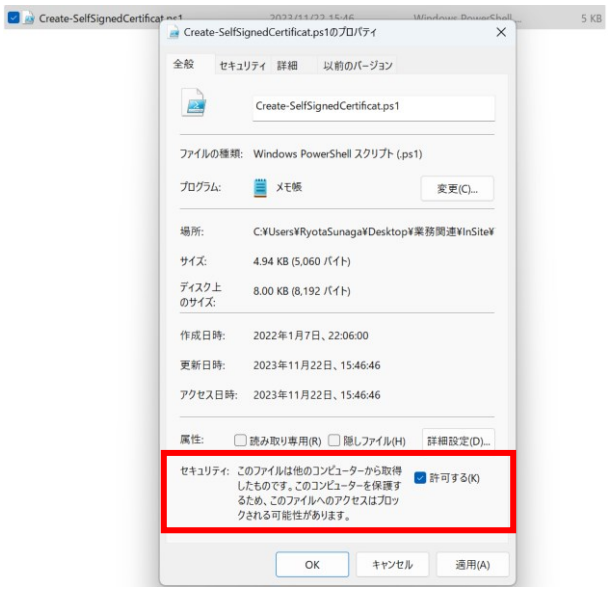
   https://discoveries.co.jp/download/InSite/Create-SelfSignedCertificat.zip

2. ダウンロードした「Create-SelfSignedCertificat.ps1」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

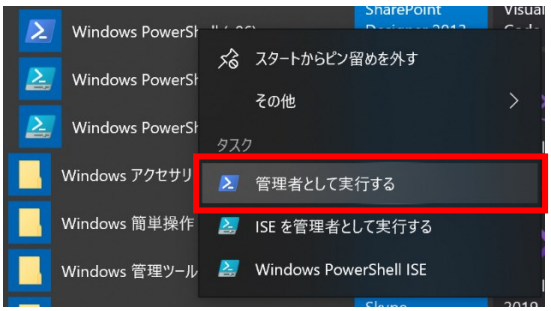


3. 「全般」タブの「セキュリティ」から「許可する」にチェックを入れて OK をクリックします。

© Discoveries, Inc.



4. Windows メニューから「Windows PowerShell」を右クリックし、「管理者として実行する」をクリックします。



5. 以下のコマンドで「Create-SelfSignedCertificat.ps1」を実行します。

【コマンド】

(ps1 ファイルを配置したフォルダのパス)¥Create-SelfSignedCertificat.ps1 -CommonName "(ファイル名)" -StartDate (認証期限の開始日付) -EndDate (認証期限の終了日付)

※ ファイル名は「（半角英数字で御社名を入力）＋InSiteMFA」で設定してください。

（例）

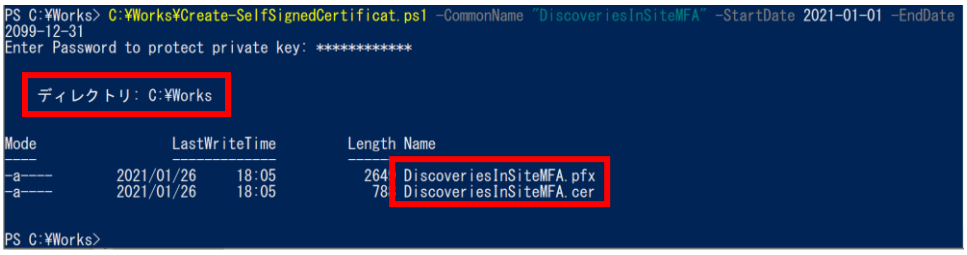
.¥Create-SelfSignedCertificat.ps1 -CommonName "DiscoveriesInSiteMFA" -StartDate 2021-01-01 -EndDate 2099-12-31

6. Enter 押下後、パスワードを設定する要求が表示されますので、パスワードを設定します。（設定したパスワードは保持しておきます）

```
PS C:¥Works> C:¥Works¥Create-SelfSignedCertificat.ps1 -CommonName "DiscoveriesInSiteMFA" -StartDate 2021-01-01 -EndDate
2099-12-31
Enter Password to protect private key:
```


© Discoveries, Inc.

7. 表示された「ディレクトリ」にファイルが作成されたことを確認します。



6.2 多要素認証設定

作成した認証ファイルを利用して、Microsoft 365 の多要素認証（MFA）を利用したアカウントを「SharePoint サインインアカウント」として InSite 管理サイトで利用できるように設定します。
この操作は、InSite の【全体管理者】アカウントで実施します。
また、【全体管理者】には Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールが必要です。

1. InSite 管理サイト <https://insite360.biz/> にアクセスして、【全体管理者】でサインインします。

2. 歯車アイコンの「設定」メニューから、「多要素認証設定」を開きます。

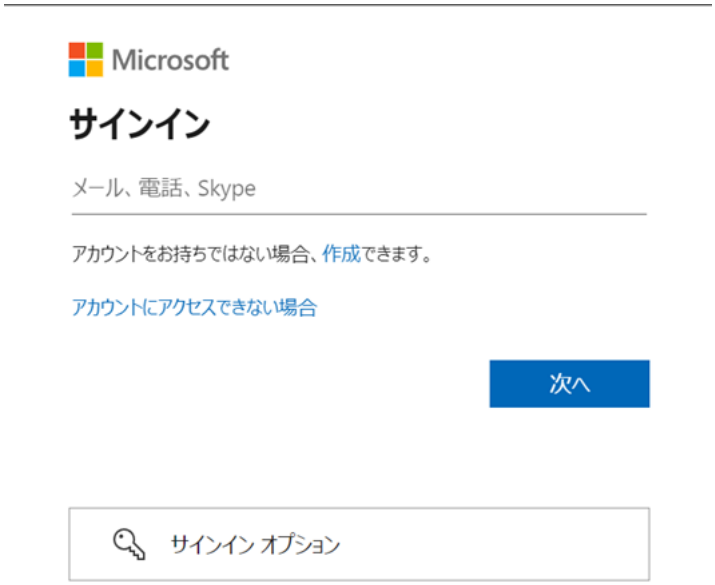
3. 「EntraID 自動設定」をクリックします。

© Discoveries, Inc.

4. ポップアップ画面で以下の情報を入力し、「EntraID 認証」をクリックします。

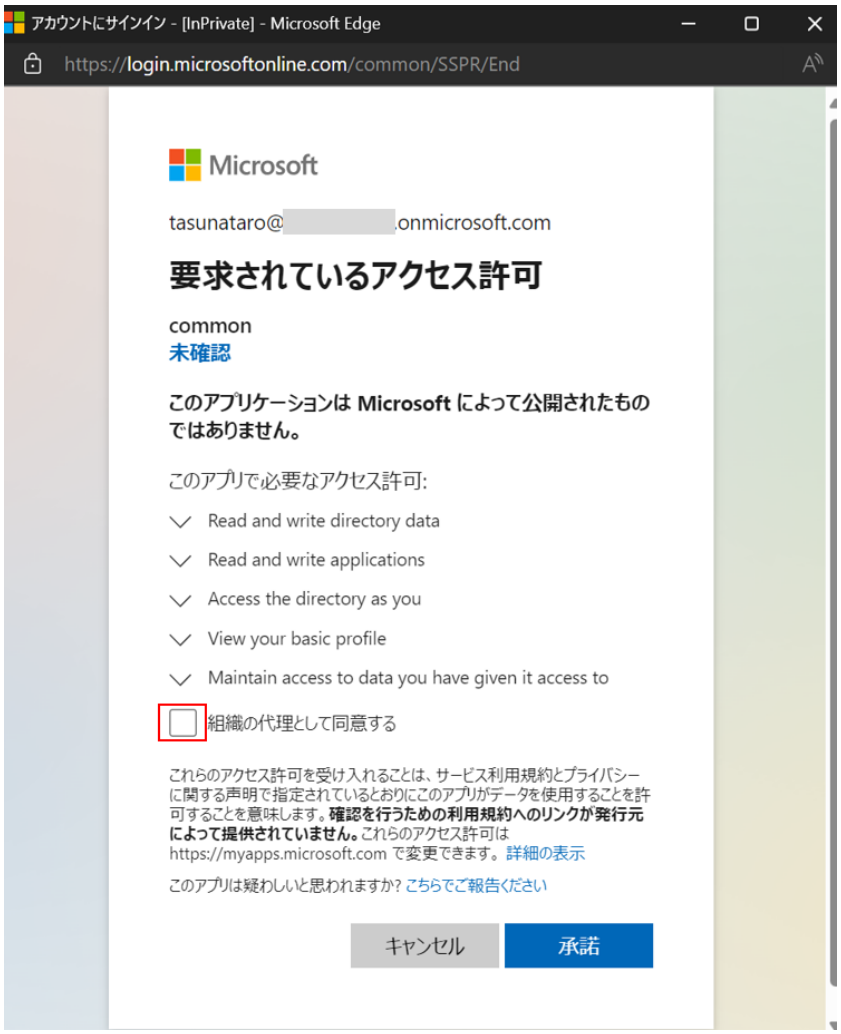
項目	内容
お客様の SharePointOnline 環境と、末尾に「/*」を入力します。	SharePoint のルートサイトの URL を入力し、**末尾に /* を入力します。**
認証ファイル（pfx ファイル）	「6.1 多要素認証ファイルの作成」で作成した pfx ファイルを登録します。
パスワード	上記の認証ファイルのパスワードを入力します。

5. Microsoft 365 認証ポップアップが表示されるので、Microsoft365 の”グローバル管理者”アカウントを入力します。



© Discoveries, Inc.

Microsoft365 認証時にアクセス許可の承諾を求められる場合には、「組織の代理として同意する」にチェックを入れず「承諾」をクリックします。

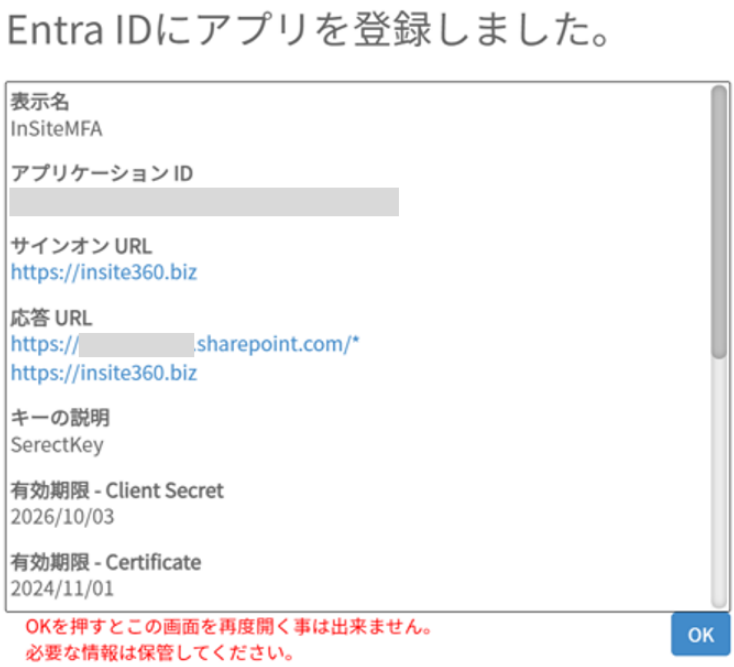


© Discoveries, Inc.

6. Microsoft Entra ID アプリの自動登録が成功すると、設定された情報の詳細が表示されますので、内容を確認後に「OK」をクリックして画面を閉じます。

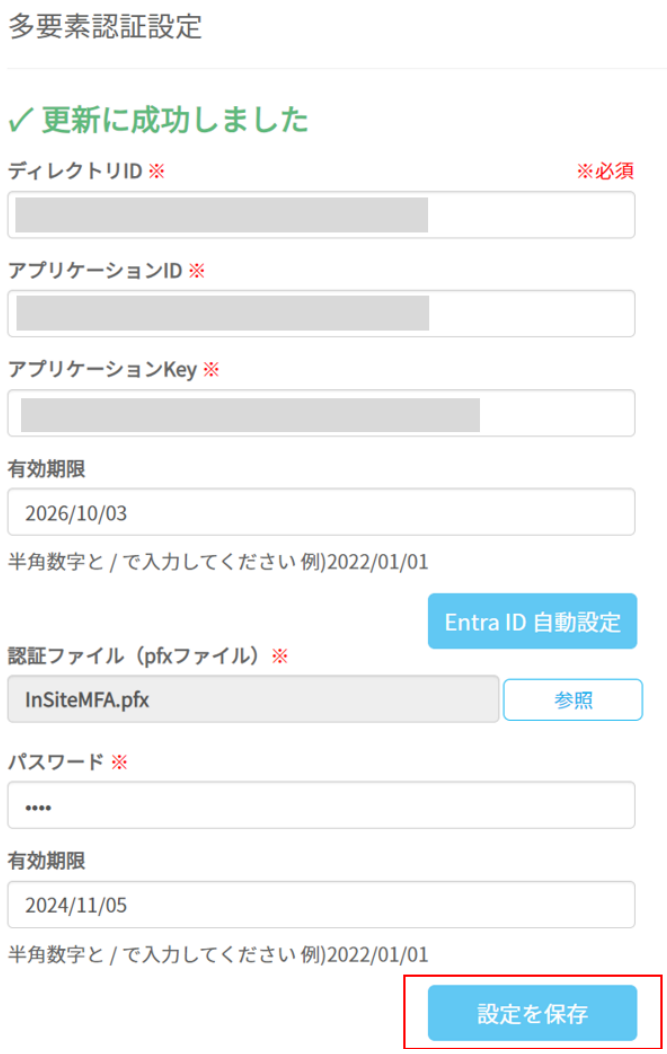
※ 本画面は一度しか表示されないため、必要な情報はコピーして保管してください。表示内容は以下のとおりです。

・ アプリケーション ID：設定後、アクセストークン設定画面のアプリケーション ID で確認できます。
・ サインオン URL：InSite ログイン画面の URL です。
・ 応答 URL：SharePoint 管理センターおよび InSite ログイン画面の URL です。
・ 有効期限：クライアント証明書の有効期限です。



© Discoveries, Inc.

7. ディレクトリ ID・アプリケーション ID・アプリケーション Key にデータが入力されていることを確認し、「設定を保存」をクリックします。



8. 成功メッセージが表示されることを確認します。

© Discoveries, Inc.

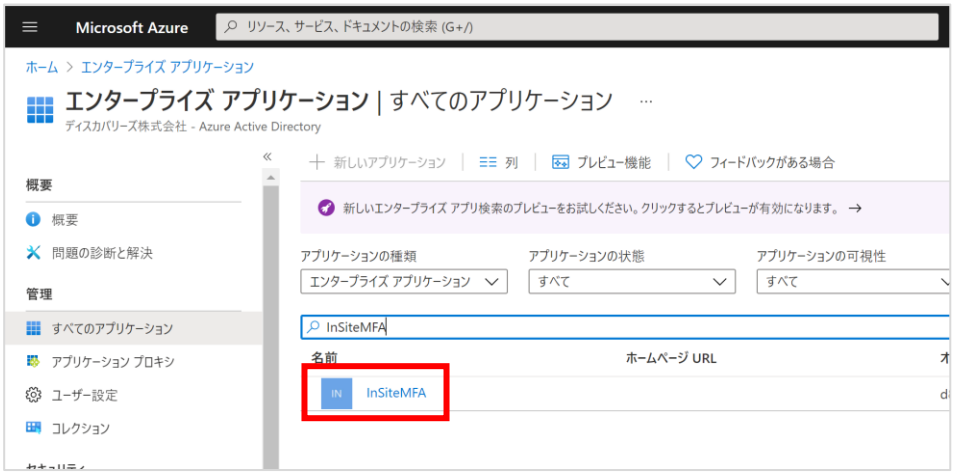
6.3 多要素認証設定の解除

InSite に設定した多要素認証設定を解除します。
この操作は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. Azure ポータル <https://portal.azure.com/ > に、"グローバル管理者"のアカウントでアクセスします。

2. 「エンタープライズアプリケーション」を検索して選択します。

3. 「InSiteMFA」を選択します。



4. 「プロパティ」をクリックして「削除」をクリックし、「はい」をクリックします。

© Discoveries, Inc.

7. アプリケーションの削除

InSite をアンインストールする際の手順を説明します。

7.1 Teams チャットボットの無効化・削除

Teams チャットボットを無効化・削除する方法は、「InSite 運用マニュアル」の「6.6 チャットボットの Teams アプリ利用設定」内に記載されている【チャットボットの無効化・削除】をご参照ください。
尚、ヘルプデスクのチャットボットを利用していない場合や、チャットボットを Teams で利用していない場合は、本作業は不要です。

7.2 InSite サイトの削除

InSite 管理サイトで作成した InSite サイトを SharePoint 環境から削除します。
この操作は、対象サイトの「サイトコレクション管理者」に登録されているアカウントで実施する必要があります。

1. 削除対象の InSite サイトにアクセスし、画面右上の歯車アイコンから「サイト情報」を開きます。

2. 「サイトの削除」をクリックします。

3. 削除確認メッセージが表示されるので、チェックをオンにし、「削除」をクリックします。

© Discoveries, Inc.

7.3 InSite アプリの削除

InSite 用に展開したアプリを削除します。
この操作は、Microsoft 365 の"グローバル管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

1. Azure ポータルサイト <https://portal.azure.com/> に、"グローバル管理者"のアカウントでアクセスします。

2. 「Microsoft Entra ID」メニューから「App registrations」を開きます。

3. 作成したアプリケーションが「App registrations」画面に表示されていない場合、タブから「すべてのアプリケーション」を選択します。

4. InSite 用に作成したアプリケーション名（例：InSite）を開きます。
※「Azure 自動設定」から作成した場合は、「InSite」の名前で作成されています。

5. 「認証」の「リダイレクト URL」に <https://insite360.biz/> が登録されていることを確認してください。

6. 「概要」に戻り、上部メニューから「削除」をクリックします。

7. 通知メッセージより、削除が完了されたことを確認します。

7.4 InSite Web パーツアプリの削除

テナントのアプリカタログを利用している場合、展開した InSite の Web パーツアプリを削除します。
サイトコレクションのアプリカタログを利用している場合は、本作業は不要です。
この操作は、Microsoft 365 の"SharePoint 管理者"の管理者ロールを持つアカウントで実施する必要があります。

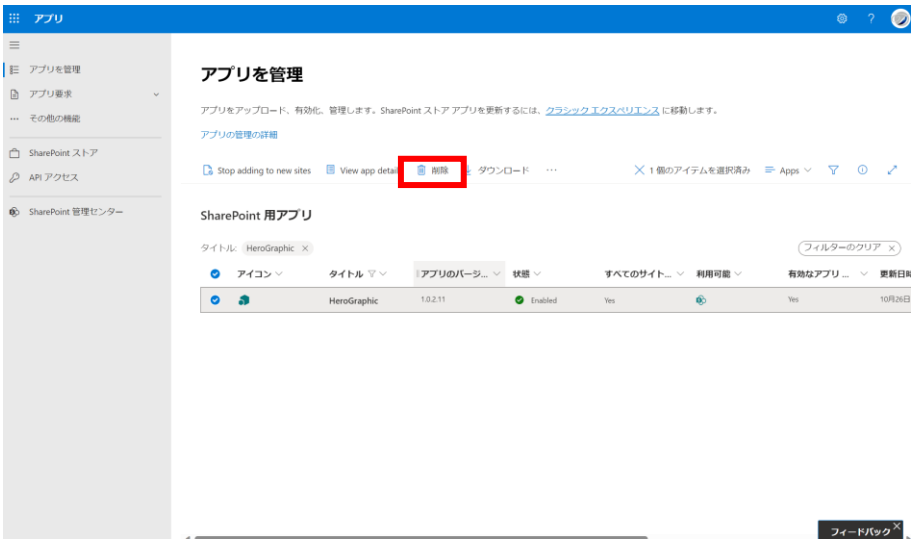
1. SharePoint 管理センターで「その他の機能」を開き、アプリメニューの「開く」を選択します。

© Discoveries, Inc.

2. 「SharePoint 用アプリ」の一覧から、以下の該当ファイルを探します。

ポータル用	・blog-webpart.sppkg ・create-message.sppkg ・engaugeworks-webpart.sppkg ・hero-graphic.sppkg ・message-memo.sppkg ・QuickNavi.sppkg ・reserve-room.sppkg
ヘルプデスク用	・searchhelpdesk.sppkg ・bot-help-desk.sppkg ・categoryhelpdesk.sppkg ・faqlistviewhelpdesk.sppkg ・qn-a-editorhelpdesk.sppkg
文書管理用	・search-document.sppkg ・search-hint.sppkg ・library-view.sppkg ・folder-view.sppkg ・taxonomy-view.sppkg

3. ファイルを選択し、「削除」をクリックします。



4. すべての該当ファイルを削除します。

© Discoveries, Inc.

補足

本マニュアルは 2024 年 10 月 4 日現在時点となります。バージョンアップや機能強化などにより、実際にご利用の製品とは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

著作権
このドキュメントに記載されている情報（URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する名称とは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。ディスカバリーズは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途ディスカバリーズのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

©Discoveries Inc. All rights reserved.
Discoveries InSite は、ディスカバリーズ株式会社の商標です。Microsoft、Microsoft 365、Azure、SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

© Discoveries, Inc.